

## 体育科学習指導案

安芸太田町立筒賀小学校

指導者 担任 内藤 文子

養護教諭 佐々木美紀

- 1 日時 平成17年11月18日(金) 5時間目
- 2 場所 5・6年教室
- 3 学年 5・6年生 (5年生8名 6年生2名 計10名)
- 4 単元名 病気の予防 「たばこの害と健康」

### 5 単元設定理由

#### (1)教材観

病原体が主な要因となって起こる病気と、生活習慣など生活行動が主な要因となって起こる病気を取り上げ、病気の予防のためには、病原体を体の中に入れないことや体の抵抗力を高めること、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であること、また、飲酒・喫煙・薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因になることなどを中心に学習する。これらの学習を通じて、自分の健康を自分で守るための知識を高め、健康によい生活行動を自ら実践する力を持つことの必要性を理解することをねらいとしている。保健領域は、今年度6年教材を中心に実施している。

#### (2)児童観

本学級の児童は、複式の学習にもほぼ慣れ、自分たちで学習を進められるようになって来た。学習に対しては、新しい知識を得ることにとっても喜びを持っている子ども達である。しかし、先輩や雑誌などの限られた知識から自分の都合に合わせて行動を判断してしまうことがある。また、生活アンケートから、夜ダラダラと遅くまで起きていたり、運動をあまりしない生活をしていたり、悪いことはわかっているが生活が変えられない実態が見られる。たばこについては、喫煙経験はないが煙を吐くくさをまねたりテレビコマーシャルを口ずさんだりすることがあるなど、たばこには“大人”、“カッコいい”というイメージも子ども達の意識の中にはある。保護者に喫煙者がいる家庭が多い。

#### (3)指導観

指導に当たっては、実験や絵などを取り入れ、印象に残る場面をつくることで、視覚的に理解させたい。また、身近な人たちの生活を考える中で、自分の健康を守るために実践できる科学的で正しい知識を持たせたい。そこで、児童の実態から、本単元の学習を通して正しい知識からの確な判断力を養い、行動化できる心を育てることが大切であると考えている。

### 6 単元の目標

○病気は、病原体・体の抵抗力・生活行動・環境がかかわりあって起こることを理解できるようにする。

○病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体を体に入れないことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることを理解させる。

○生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事や口腔の衛生など、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であることが理解でき、また、喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることが理解できるようにする。

## 7 単元の評価規準

ア 健康・安全への 関心・意欲・態度	イ 健康・安全についての 思考・判断	ウ 健康・安全についての 知識・理解
<p>病気の起こり方や予防の方法について、自分や身近な人の経験した病気の例などを基に課題を見つけようとしている。</p> <p>病気の起こり方や予防の方法について、人に聞いたり、教科書などの資料を基にしたりして調べようとしている。</p> <p>病気の起こり方や予防の方法について、調べたことや考えたことを発表したり、友達の意見を聞いたりしようとする。</p>	<p>病気の起こり方や予防の方法について、自分の経験や友達、家族など身近な人々の生活などを振り返り、問題点を見つけることができる。</p> <p>病気の起こり方や予防の方法について、人に聞いたり、資料を基に予想したり、関係を見つめたりすることができる。</p> <p>病気の起こり方や予防の方法について、学習したことを自分の生活に当てはめることができる。</p>	<p>病気は、病原体・環境・体の抵抗力・生活行動が関わり合って起こることを知っている。</p> <p>病原体が主な要因となって起こる病気とその予防の仕方について知っている。</p> <p>生活習慣が主な要因となって起こる病気や、その予防の仕方、喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響について知っている。</p>

## 8 指導と評価の計画（全5時間）

次	学習内容	評 価			
		関	考	知	
1	病気のおこり方			<p>・自分が経験した病気や知っている病気を思い出して発表し、話し合おうとしている。</p> <p>・病気の原因について考えることができる。</p> <p>・病気は、病原体・環境・体の抵抗力・生活の仕方がかかわりあって起こることを理解し、原因を取り除くことが予防につながることをわかる。</p> <p>・エイズと言う病気の基本的な事項を知り、HIVは日常生活ではほとんど感染しないことがわかる。</p>	発表 観察 プリント
2	生活習慣病が関係する病気の予防	○		<p>・生活の仕方が病気の原因になることに関心を持ち、自分の生活を振り返ろうとしている。</p> <p>○ ・生活習慣病の予防には、食事、運動、休養、睡眠が深く関係することが分かる。</p> <p>・自分の食生活を振り返り、生活習慣病予防の対策を考えることができる。</p>	プリント
3 (本時)	たばこの害と健康			<p>・たばこと健康との関係に関心を持ち、その関係を調べたり考えたりしようとしている。</p> <p>・喫煙、特に受動喫煙による周囲への悪影響を理解する。</p>	プリント 発表 観察
4	酒の害と健康 薬物乱用の害と健康			<p>・酒や薬物に関する情報を発表したり、友達の意見を聞いたりしようとする。</p> <p>・酒の害を知り、成人するまでは飲酒をしないという意識を高めることができる。</p> <p>・自分の体を守るためにとるべき行動や法律の意味について理解できる。</p> <p>・薬物を乱用するとどんなことが起こるかがわかる。</p> <p>・誘われたときの断り方を考えることができる。</p>	プリント 発表 観察 ロールプレイング
5	まとめ			<p>・宣伝では、多くの場合、悪いイメージを使用していないことに気づくことができる。</p> <p>・健康に良い生活行動を取るための自分の意思をポスターに表すことができる。</p>	プリント 発表 作品 プリント

9 本時の展開

本時の目標 たばこが健康に及ぼす影響を知る。

評価規準 ア たばこの害について関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)  
 イ たばこの煙の有害性を知り、体への悪影響が理解できる。(知識・理解)

準備物 実験道具 事前実験の瓶 写真 綿棒 プリント 禁煙マーク 窓を拭いた雑巾

本時の指導過程

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点		評 価 (方法)
		T 1	T 2	
導入 10分	たばこについて知っていることを発表する。	今日の学習を確認する。 たばこについての情報を発表させる。		
展 開 30分	たばこの正体を知ろう			
	火の付いたたばこの煙の出方を思い出す。 実験の手順を知る。  実験の結果を予想し、ワークシートに書く。 実験を観察する。	メモを取りながら聞くよう声かけをする。 たばこの煙を吸わないように窓を開ける。	煙が出てくる様子を思い出させる。  実験方法を説明する。  煙がどうなるか予想させる。 ワークシート に予想を書かせる。	ア (ワークシート)
	たばこの煙は液体に溶けることを知る。	机間巡視 液体の色のちがいに注目するように声かけをする。	煙の入った液体と普通の液体の色を比べさせる。  ワークシート に結果を書かせる。	(ワークシート)
	ふたに付いたタールを観察し、ワークシートに書く。	全員が綿棒でさわられるように声かけをする。	瓶のふたをしっかりと見せ綿棒で触らせ、とれにくさを感じさせる。 ワークシート に結果を書かせる。	(ワークシート)
	煙の成分がそれぞれ体内でどんな害を与えるか知る。 (一酸化炭素・ニコチン・タール)		煙の成分について説明する。	イ (ワークシート)
	主流煙・副流煙の違いを知る。  たばこを吸わない人への影響を知る。 感じたことを書く。	机間巡視 自分たちもたばこの煙をすっていることを意識するような声かけをする。	主流煙と副流煙の害の違いを表にして見せる。  窓を拭いた雑巾の色の違いを見せる。  ワークシート に感想を書かせる。	(ワークシート)
禁煙マークについて知っていることをワークシートに書き、発表する。		禁煙マークを掲示 禁煙マークの貼られている場所や意味についてワークシート に書き発表させる。	(発表) (ワークシート)	
まとめ 5分	まとめをする。 学習を振り返り、考えたことを書く。	今日の学習のまとめをする。 板書から学習を振り返り、ポイントを抑える。 感想を自由に書かせる。		(ワークシート)

## 準備物について

実験道具 (たばこの煙を閉じ込め液体に混ぜて色の変化を見る。)  
たばこ  
マッチ  
針金  
受け皿  
アルコール20%液  
試験管 色比べに使用  
白画用紙 "  
ペットボトル

事前実験の瓶(3個) 火の付いたたばこを瓶に入れ副流煙に含まれるタールを蓋につけたもの

水を入れた瓶(3個)

綿棒 色の比較とふたに付いたタールの観察に使用

雑巾 教室の窓を拭いたもの  
たばこを吸う人の部屋の窓を拭いたもの

主流煙・副流煙に含まれる主な成分の量を示した表

たばこを吸う人と健康な人の肺を比べた写真

禁煙マーク 2～3種類準備(校内で使用されている物)

## 参考資料

たばこは全身病(実験編) 少年写真新聞社

なんで? どうして? 実験教室 健康教室臨時増刊号(2001年1月) 東山書房



# たばこの正体を知ろう

名前 \_\_\_\_\_

## 1. たばこのけむりは どのくらいなのでしょう。

(1) ペットボトルに同じ量のけむりをこの後 ビデオで思い出さか。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(2) 実験から どのような変化がみられましたか。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(3) 呼吸の回数やうらがしたものは、どのくらいでしたか。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(4) 煙の中へ入ったけむりは、ビデオで思い出さか。

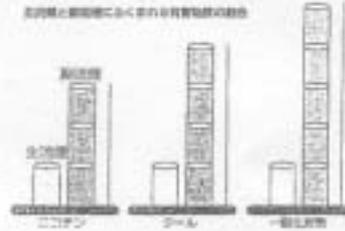
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(ワークシート )

## 2. たばこのけむりは どのようなものなのでしょう。

(1) たばこのけむりの成分には、主にどのようなものが含まれていますか。  
( ) ( ) ( ) ( )

(2) 表を見て、煙の成分を比べて書きましょう。



(ワークシート )

## 3. こゝらは 禁煙マークです。このマークについて知っていることや

学校敷地内禁煙



どう思っていますか、思いや考えを書きましょう。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

4. 今日の学習で思ったことやわかったこと、質問などを書きましよう。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



(ワークシート )